

大崎上島町 社協だより

No. 247

2023(令和5)年11月発行

〒725-0401 広島県豊田郡大崎上島町木江5-9
社会福祉法人 大崎上島町社会福祉協議会 (TEL 0846-62-1718)
ホームページ <http://www.syakyo.net/>



第12回 ふくしのまちづくりのつどい



<大会テーマ>

これからのために、地域みんなで今できることを考える



講師の山下 弘彦さん

<講師からのメッセージ>

**「誰か」だけで地域を守るのではなく、それぞれが役割を担い、地域で支え合うことが大切
改めて、できることから**

11月4日(土)、大崎上島文化センター「ホール神峰」において、第12回大崎上島町ふくしのまちづくりのつどいを開催しました。

令和2年から感染症の影響で様々な制限がありましたが、今回は人数制限がない形での開催となり、200名を超える多くの皆様にご来場いただきました。

音を楽しむ会の皆様によるミニコンサートを皮切りに、本町の福祉活動を地域の中で支えてくださった方への表彰式典や、「コロナ禍を乗り越えて、改めて地域のつながりづくり」と題し、コロナ後の地域の元気を取り戻すためのきっかけづくりのヒントとなる基調講演が行われました。

講師の山下 弘彦さんをはじめ、ご来賓の皆様、ここ大崎上島で活動されている皆様の協力により、このつどいが盛大に開催できたこと、本町の社会福祉・地域福祉の向上のきっかけづくりにつながる大変有意義な時間を過ごしていただくことができたと思います。

地域の皆さんとともに、これからも福祉によるまちづくりを進めてまいります。

第12回 大崎上島町ふくしのまちづくりのつどい

♪ 音を楽しむミニコンサート ♪

オープニングセレモニー

第12回 大崎上島町ふくしのまちづくりのつどいは、音を楽しむ会の皆様による「音を楽しむミニコンサート」から開演し、会場全体が美しい音色に癒され、とても和やかなムードでスタートしました。音を楽しむ会の皆様、素晴らしい演奏をありがとうございました。

ナビゲーター
佐村 蘭子さん



ピアノ 望月 友利栄さん

フルート 佐々木 珉沙江さん

式典

大崎上島町社会福祉協議会会長より感謝状の贈呈及び、大崎上島町老人クラブ連合会会長より永年勤続表彰がありました。

表彰状及び感謝状被表彰者（写真掲載は当日出席者のみとさせていただきます）

永年勤続表彰



角本 君崇 様

高額寄附者感謝状



故 円山 章子 様
(出席 円山 忠信 様)

高齢者巡回相談員 協力者 感謝状



住野 康彦 様

老人クラブ連合会 会長表彰 永年勤続



森田 茂雄 様



被表彰者の皆さま（当日ご欠席）

【永年勤続表彰】

松浦 弘 様

【高額寄附 感謝状】

平田 一彦 様、加藤 一英 様

【高齢者巡回相談派遣事業協力者 感謝状】

森本 清美 様、山口 まゆみ 様、道先 宗美 様
金原 憲子 様、平道 千代子 様、高谷 豊女 様

【外出支援運転協力員 感謝状】

常本 伸子 様、小村 笑美 様、故 土本 恵子 様
井上 純子 様、久保 卓也 様、大成 淳二 様
川本 育穂 様、藤原 節子 様、取釜 康之 様

【老人クラブ連合会 会長表彰 永年勤続表彰】

松本 充 様



感謝状、表彰状を受けられた皆様おめでとうございます。



手話サークルからたちの皆様に手話通訳のご協力をいただきました。ありがとうございました。



令和5年度

赤い羽根ボランティアスクール開講しました！

10月25日を皮切りに、11月1日、8日の3日間にわたり、「赤い羽根ボランティアスクール」を開講いたしました。今年度は、現地受講とZoomによるオンライン受講のハイブリッド型とし、13名の方に受講いただきました。毎年受講いただく方、今年初めて受講される方、様々な顔ぶれで、「多様な発達のある子どもたちの支援」について関心の高さをうかがうことができました。

それでは、4年目を迎えたボランティアスクールの様子をレポートいたします！



第1回 講義『多様な発達を支える制度・しくみについて理解を深めよう』

講師：地域支援センターまいらいふ 相談支援専門員 寺本 誠子 さん

大崎上島町福祉課福祉指導係 係長 川口 啓 さん

講師の寺本さん、川口さんからは、障がいのある子どもたちを支える公的な制度、しくみについてお話しいただきました。また、本町や竹原市の現状と課題についてもお話しいただき、子どもたちを取り巻く現状について理解を深めることができました。



第2回 講義『多様な子どもたちへの地域からの支援』

講師：国立病院機構 賀茂精神医療センター

非常勤児童指導員 元山 淳 さん

元山さんからは、子どもたちの発達や個性には多様性があること、保護者だけでなく大人との関係づくりが子どもの成長に重要であるというお話がありました。

受講生からは、「地域住民としてどのような役割が考えられるか」、という質問があり、「畑仕事をしながら登下校する子どもたちに声をかけることだけでも違ってくると思う」と答えられ、専門性だけでなく、地域で共に暮らす“互近助”（おたがいさま）が大切であるということを感じました。

赤い羽根ボランティアスク



第3回 講義『福祉による町づくりへの視点 「 」からの願い…』

講師：大崎上島障がい児者わかばの会 会長 松浦 真英 さん

松浦さんからは、タイトルにもある「 」(かぎっこ)の意味や、五感を最大限に活用することなど、いろいろな視点のお話しをされました。

「 」には、「個別性のある願い」が込められており、その個々の願いをかなえていく経験の積み重ねが、多くの方の苦労や課題の解決の糸口に繋がりが、社会福祉が向上していくというお話しをされていました。

また、ボランティアを行う上で、「違い（多様性）、強み、共有の認識」を持っておくことと、常に相手の立場をわかろうとする努力が大切であることを伝えられていました。



身体障害者福祉協議会だより

秋はイベント
盛りだくさん

広島県身体障害者福祉大会に出席しました！



10月26日、東広島市生涯学習センターにおいて、第61回広島県身体障害者福祉大会が開催され、本会からも会長をはじめ、役員、事務局5名で出席しました。

この大会において、団体功労賞という役員の永年勤続表彰が行われ、本会会員の中田 昭吾さんが受賞されました。合併前から長きにわたり本会の地区役員としてご活躍されており、理事会や行事には欠かさず参画いただくなど、会の運営にご尽力いただきました。

受賞おめでとうございます！

大崎上島町障がい者スポーツ大会を開催しました！

10月28日、ふれあいホール大崎において、第19回大崎上島町障がい者スポーツ大会を開催しました。

コロナ禍で開催ができない年があった中で、昨年度から通常開催に戻りましたが、2年目にしてとうとう参加が20名を切ってしまいました。「昔は140名くらい参加者がいたのにねえ」と残念がる声もありましたが、参加者の皆さんは応援合戦や競技に元気いっぱい取り組まれ、賑やかな大会となりました。

運動会形式での開催を望む声は多く、少しでも多くの方にご参加いただく大会にするために創意工夫してまいります。



スポーツ推進員の皆様にポッチャを
教えていただきました

会員交流事業「清風館 de お食事会」を開催しました！



11月8日、会員同士の交流を目的として、清風館の瀬戸の間においてお食事会を開催し、23名が集まりました。

ゲストにオレンジコーラスをお招きし、美味しい食事と素晴らしい歌声のハーモニーを楽しんでいただいたり、ゲストのメンバーとも久々の再会があったりと、出会いの多いお食事会となりました。

会員の高齢化が進んでも、多くの方が参加できる身体的に負担の少ない楽しい交流ができるようこれからも企画してまいります。



予告

<令和5年度 身体障がい者福祉講演会のご案内>

日時：令和5年12月6日(水) 13:30~15:00

場所：東野文化センター 大ホール（大崎上島町役場本庁2階）

講師：キャリアデザイン研究所 所長 井手口 ヤヨイ 氏

テーマ：「コロナ後の元気な地域を取り戻すために～ 出あい・ふれあい・支えあいを大切に(仮)～」

参加対象：大崎上島町身体障害者福祉協議会の会員および地域の皆さま

参加費：無 料

<お問い合わせ先>社協本所 ☎62-1718（担当：波多野）まで

参加者
募集中



実は、便秘にないやすい高齢者 ～ “スッキビ” として毎日を送っていただくために ～

たかが便秘、されど便秘…

便秘になるとお腹が張って、不快に感じた経験のある人も多いと思います。その便秘も長く続くと、食欲不振や倦怠感を起こしやすくなるだけでなく、集中力低下やイライラなど、精神的不安定にもなり、ひどい場合には腸閉塞などの重い病気を引き起こすことがあります。たかが便秘、されど便秘。便秘を決して甘く見ず、便通がよくないときには早め早めの対策がとても大切です。



高齢者が便秘にないやすい理由

高齢者は便秘になりやすい傾向にあります。要因はいくつかありますが、まず水分不足があげられます。高齢者はのどの渇きを感じにくくなるため、水分補給の頻度が少なくなり、体の中の水分が少なくなることで、腸内の便がかたくなり、便秘になりやすくなります。次に、加齢による身体機能の低下です。腸の動きに必要な副交感神経の働きが加齢とともに低下するので、便秘になりやすくなります。また、排便は「いきむ」ことで排泄します。「いきむ」ためには腹圧が必要ですが、加齢により筋力低下し、腸内の便が停滞してしまいやすくなります。

ポイント

高齢者にこそしっかりやってほしい「便秘対策」

(1) 日頃の水分補給をひと工夫！

こまめに・少しずつ水分補給をしましょう。

一気にたくさん飲むと、尿として排泄されてしまいます。



(2) 食物繊維を取りましょう！

食物繊維は胃で消化されず腸に届くため、腸を刺激して便の容量を増やす効果があります。

野菜やキノコ類が入ったおかずを取り入れましょう。

また、ビフィズス菌などの栄養補助食品で腸内の活動を活発にすることもおすすめです。

(3) 適切な運動を心がける！

適度な全身運動は腸の動きを促進します。高齢者の場合、散歩や体操、家事など日常的に軽い運動を取り入れるだけでも効果が期待できます。

さらに、筋力が維持されることで、排便時にお腹に力をかけやすくなります。

(4) 「の」の字マッサージをしましょう！

手のひらでお腹を押さえ、時計回りに「の」の字を書くように動かします。

腸のぜん動運動を促してくれます。



ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいたご寄付は、福祉のまちづくり推進のため、有効に活用させていただきます。

【令和5年10月14日～令和5年11月10日 お申し出分】

【生前のお礼】

- ・中野 土本 起則 様（故妻 恵子 様）
- ・中野 大和 弘幸 様（故妻 万里 様）
- ・明石 下本 高輝 様（故叔父 信秋 様）
- ・東野 宗広 栄喜 様（故母 アヤ子様）
- ・明石 西田 勉 様（故父 義照 様）

【香典返し】

- ・沖浦 戸端 成光 様（故父 靱雄 様）
- ・東野 川本 俊子 様（故夫 征司 様）

【一般寄付】

- ・中野 松本 良二 様（福祉用具・車両借用のお礼）
- ・中野 大崎上島けんこう文化の島づくり協議会 様
（フリーマーケット売上）
- ・匿名（1名様）

在宅介護者家族会 ～12月はお休みです～

認知症の人と家族の会 ～12月定例会のご案内～

日時：12月22日（金）9：30～11：30

場所：オレンジハウス 対象者：認知症状がある方、在宅で介護されている方

お知らせ

絵画をご寄付いただきました！

10月24日、外表区の岡本 悦生様から、絵画のご寄付がありました。この絵画は、「平和と環境保護」をテーマとしたもので、今後町内11か所に展示される予定があるとの話です。島を巡りながら、この絵画を探しに行く旅もいいですね。



本所ロビーに展示されています

大崎上島町社会福祉協議会では、次の職員を募集しています。

令和6年4月1日採用予定 職員募集

<申込期間>令和5年11月17日(金)9時から12月15日(金)17時まで

<試験日>令和5年12月25日(月)

採用職種	主任介護支援専門員	生活福祉資金貸付事業担当者
受験資格	・主任介護支援専門員の資格を有する人 ・普通自動車運転免許を有する人	・高校卒業程度の学力を有する人 ・普通自動車運転免許を有する人
採用予定数	正規職員1名	嘱託職員1名
勤務場所	大崎上島町地域包括支援センター	大崎上島町社会福祉協議会

募集に関する詳細は、下記問い合わせ先までお電話いただくか、本会ホームページをご覧ください。

<お問合せ先>社協本所（法人本部 藤原）☎（0846）62-1718

「社協だより」は、皆様からの社協会費・寄付金などにより、発行させていただいております。